

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回6月の「てがたん」は6月13日(土)で、「田んぼの生き物」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

- *市民スタッフの方々へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは6月6日(土)です。よろしくお願いたします。
- *今回から参加の有無に関わらず、自然観察と生物調査スタッフのみなさまにレポートを送付させていただきます。

5月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→水神山古墳跡→市民農園→手賀沼遊歩道→鳥の博物館
- 観察日時/天気 2009年5月9日(土) / 晴れ
- 参加者 64名(一般48名 子ども16名)
- スタッフ 16名(石原直子、伊東茂子、大屋貴義、岡廣志、木村稔、玄地昭八、小泉伸夫、仁科淳、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、水上香苗、宮川光進、保田行弘、湯瀬一栄、吉田一博、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 3名(齊藤安行、塩田いづみ、村松和行)

観察記録 - 5月に観察した生き物リスト-

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カワウ/カモ科：カルガモ、コガモ、マガモ/クイナ科：オオバン/ハト科：キジバト/セキレイ科：ハクセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス/シジュウカラ科：シジュウカラ/メジロ科：メジロ/アトリ科：カワラヒワ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス

【両生類・魚類・甲殻類】 アマガエル、トウキョウダルマガエル、ウシガエル、アメリカザリガニ

【昆虫・クモ】

[チョウとガの仲間] オオミズアオ、ユウマダラエダシャク、チャミノガ(ミノ虫)、ナミアゲハ、キアゲハ、クロアゲハ、アオシヤゲハ、ナガサキアゲハ、モンシロチョウ、キチョウ、ヤマトシジミ、ベニシジミ、ゴマダラチョウ(春型)
[ハチの仲間] ニホンミツバチ、クマバチ、コハナバチ [トンボの仲間] シオカラトンボ、ホソミオツネトンボ
[シロアリの仲間] ヤマトシロアリ、[サシガメの仲間] ヨコヅナサシガメの幼虫 [テントウムシの仲間] ナミテントウ、ナナホシテントウ [ハムシの仲間] コガタリハムシ、エノキハムシ、ウリハムシ [バッタの仲間] ヒシバツタ、ハネナガヒシバツタ、ヤブキリ幼虫 [ゾウムシの仲間] コフキゾウムシ [クモの仲間] ゴミムシ(種不明) ハナグモ(種不明)、コモリグモ、アシナガグモ、オニグモ

【花・草本】

キク科：ノゲシ、オニノゲシ、チチコグサモドキ、ウラジロチチコグサ、ハハコグサ、セイヨウタンポポ、ハルジオン、ノボロギク、オオジシバリ、オニタビラコ/ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、トキワハゼ、ムラサキサギゴケ、カワジシャ/マメ科：カラスノエンドウ、シロツメクサ、ゲンゲ/ナデシコ科：ノミノツツリ、ウシハコベ、コハコベ、オランダミミナグサ、ツメクサ/ムラサキ科：キュウリグサ、ハナイバナ/アブラナ科：スカシタゴボウ、オランダガラシ、ナズナ、キレハイヌガラシ/アカバナ科：アカバナユウゲショウ、コマツヨイグサ/アヤメ科：ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ、キシヨウブ/サトイモ科：ショウブ、ウラシマソウ/カタバミ科：カタバミ、アカカタバミ、オッタチカタバミ/キンポウゲ科：ケツネノボタン、キツネノボタン/ツユクサ科：ノハタカラクサ/イネ科：カズノコグサ、スズメノテッポウ/バラ科：ヘビイチゴ、オヘビイチゴ/カヤツリグサ科：ウマスゲ/シソ科：ホトケノザ/セリ科：ヤブジラミ/園芸種 ラン科：シラン

【花・木本】

バラ科：モミジイチゴ、ナワシロイチゴ/ツツジ科：オオムラサキツツジ/スイカズラ科：スイカズラ/マメ科：ハリエンジュ、フジ

訂正のお知らせ

4月のてがたんレポートでトキワハゼとムラサキサギゴケの匍匐枝についての記載が逆になっていました。正しくは「ムラサキサギゴケが匍匐枝を出し、トキワハゼは出さない」です。申し訳ありませんでした。

5月の観察アルバム



晴天にも恵まれ、絶好の観察日和でした。今回、てがたんでは水神山古墳跡に立ち寄りたり、市民農園のツバメの巣を見たり、普段のルートにはあまり入っていない場所も立ち寄りしました。今回のテーマは「鳥のさえずりと子育て」でした。観察中ハクセキレイやカワラヒワ、シジウカラなどのさえずりが聞こえました。



案内人 木村 稔さん



①

クモに寄生するダニ

赤く見えるのが寄生しているクモタカラダニ



②

ウラシマソウ

花びらの一部が釣糸にみえることが名前の由来



③

ホソオビヒゲナガみ

体長 15~17cm、メスはもっと触覚が短い



④

ショウブの花

花より上にある葉のような部分は苞という部分



⑤

カズノコグサ

初観察！秋には数の子の様に黄色になります



⑦

トウキョウダルマガエル

田んぼ近くの水路で生き物探し！トウキョウダルマガエルの他にもドジョウやアマガエルも捕まえました



5月の観察コースと見た生き物



⑥

ハネナガヒシバツタとヒシバツタ

ハネナガヒシバツタは体長およそ10mm、ヒシバツタは8~14mmどちらも成虫越冬し、ハネナガは飛ぶことができ、ヒシバツタは飛ぶことができません。



⑫

ノゲイヌムギ？花

南アメリカ原産の帰化植物イヌムギ？ノゲイヌムギ？



⑪

ウマスゲの果実

花の季節は5月から6月



⑩

テントウムシの卵

オノエヤナギの枝に産卵



⑨

ヤマトシロアリ

5月頃は生殖虫の飛行が始まる季節



⑧

巣を守るツバメ

市民農園トイレには巣が4つありました

他にもたくさんの植物を観察しました



カワヂシャ

田んぼのあぜで観察しました。チシャとはレタスのことで若葉は食べられます。近年、大型の帰化種オオカワヂシャが増えており、特定外来生物に指定されています。



ヤブジラミ

水神山古墳跡で観察。果実はカギ状に曲がったトゲがあり、動物に付いて種子散布します。よく似たオヤブジラミもあります。



ノハタカラクサ

斜面林下の藪で観察。南アメリカ原産の帰化種。青色の花のツクサは1年草ですが、ノハタ~は多年草です。園芸種として日本に渡来しました。

シランの花粉で遊んでみました



ラン科の植物は虫媒花です。花粉はとても小さいので、粘液を出して花粉を塊にして虫に運ばせます。

蜜を出すランの仲間もいますがシランは出しません。虫（ハチ）は利用されるだけというわけです。